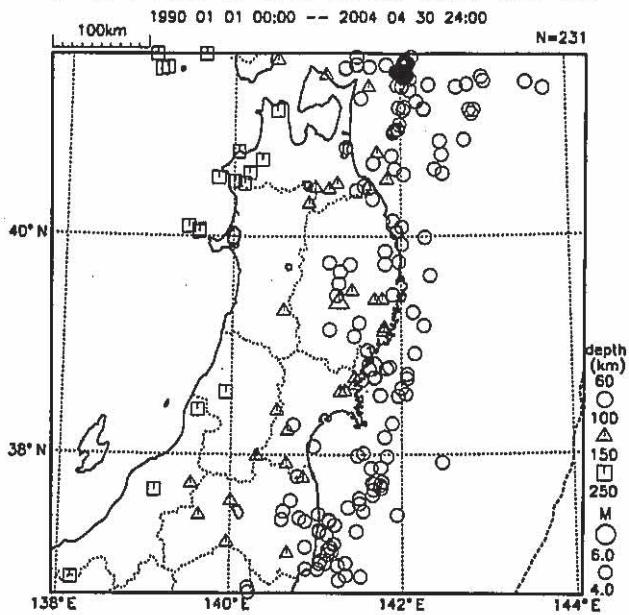


東北地方のスラブ内の地震活動

震央分布図【デクラスタ処理】

(1990年以降、 $M \geq 4.0$ 、 $60 \text{ km} \leq \text{深さ} \leq 250 \text{ km}$)



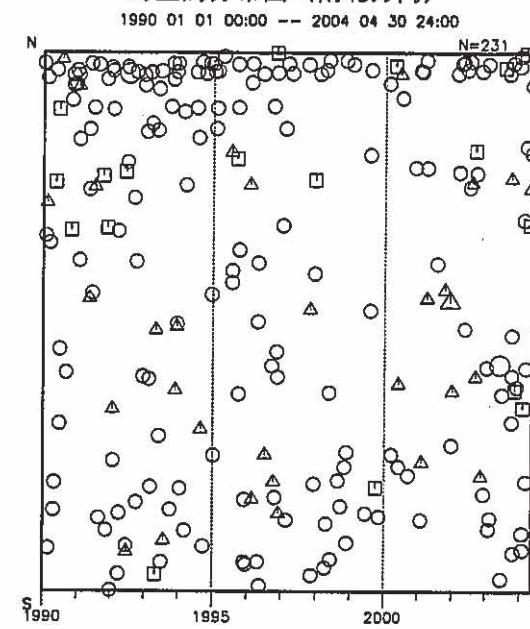
1997年～2002年にかけて東北地方のスラブ内の地震活動が低調であった。2003年後半からはやや活発化している。

* 1990年～2004年4月の期間に東北地方のスラブ内で発生した $M \geq 2.6$ の地震について、デクラスタ処理（10日間以内、10 km 以内の地震をクラスタとみなし、そのうち最大規模の地震のみ残す）を行った。なお、 $M \geq 4.0$ の地震を図示している。

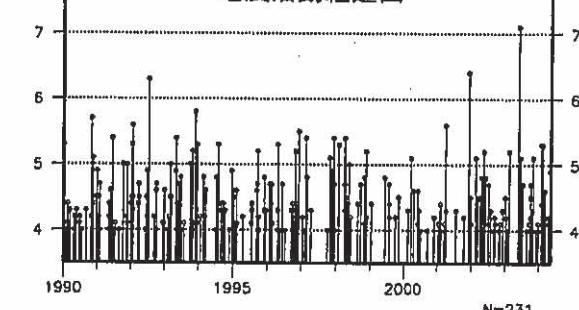
* 定常ポアソン過程を仮定し、地震活動レベル（高いほど活発）の推移をみた。基準とした期間は 1990～1995 年（6 年間）で、360 日の時間窓を 120 日ずつずらして計算した。

地震回数のレベル化		
レベル	確率 (%)	地震数
8	1	多
7	4	
6	10	
5	15	
4	40	平常
3	15	
2	10	
1	4	
0	1	少

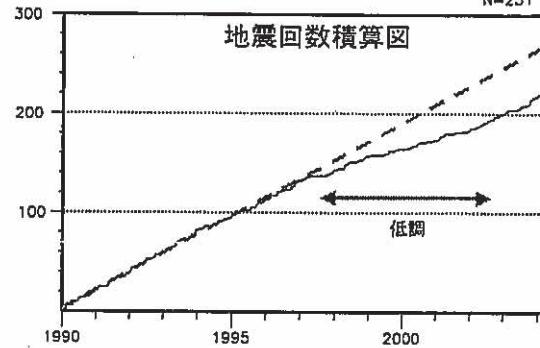
時空間分布図（南北方向）



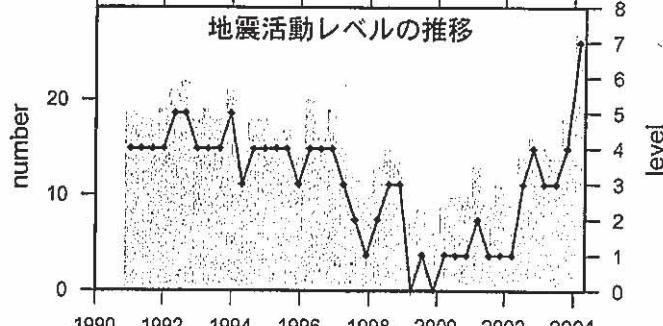
地震活動経過図



地震回数積算図



地震活動レベルの推移



—：地震活動レベル (0-8)

■：地震回数 (クラスタを除く)